



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 ソトー

上場取引所 東名

コード番号 3571 URL <https://www.sotoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上田 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小澤 活人

TEL 0586-45-1121

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,966		19		28		55	
2021年3月期第1四半期	2,281	27.7	110		58		91	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 71百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 144百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	4.33	
2021年3月期第1四半期	7.18	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、2022年3月期第1四半期の各数値は、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	15,373	12,713	82.7
2021年3月期	15,616	12,949	82.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 12,713百万円 2021年3月期 12,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		13.00		13.00	26.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800		30		40		10		0.79
通期	7,600		130		0		410		32.22

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	13,933,757 株	2021年3月期	13,933,757 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,207,085 株	2021年3月期	1,207,085 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	12,726,672 株	2021年3月期1Q	12,726,761 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が依然収束しない中、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、商業施設の休業や営業時間短縮及び外出自粛の影響が続き、個人消費が低迷し厳しい状況で推移しました。海外におきましては、ワクチン接種の進展により経済活動に回復の兆しが見え始めておりますが、変異株による感染再拡大のリスクが懸念される等、依然として不透明な状況が続いております。

繊維産業におきましても、緊急事態宣言が発令されたことによる百貨店等の休業や営業時間短縮及び外出自粛の影響等により、衣料消費が低迷し依然大変厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、優れた感性と技術で新しい「価値」を創造するとともに市場領域の拡大とグローバル展開を図り、安定的・持続的成長の実現を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19億6千6百万円（前年同期比13.8%減）、営業損失1千9百万円（前年同期は営業損失1億1千万円）、経常利益2千8百万円（前年同期は経常損失5千8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失9千1百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(染色加工事業)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言による百貨店の休業等により衣料消費が低迷していることや、在宅勤務やテレワークの推進等による消費動向の変化により、当社の加工の中心である秋冬物アウター素材の受注が落ち込んでいること等により、織物が6億5千8百万円（前年同期比24.0%減）、ニットが6億8千1百万円（前年同期比12.2%増）となり、売上高13億3千9百万円（前年同期比9.1%減）、営業損益につきましては、固定費やロス削減を図ってまいりましたが売上減少を補えず、営業損失7千9百万円（前年同期は営業損失1億6千3百万円）となりました。

(テキスタイル事業)

染色加工事業同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市場が低迷し、製品在庫の消化が進んでいないこともあり受注活動が停滞しており、売上高5億3千7百万円（前年同期比20.3%減）、営業損益につきましては、生産コストの削減に努めてまいりましたが、営業損失2百万円（前年同期は営業損失5千1百万円）となりました。

(不動産事業)

群馬県伊勢崎市の土地・店舗を商業施設に賃貸しておりましたが、本年4月をもって賃貸契約終了となった影響等により、売上高8千8百万円（前年同期比33.3%減）、営業利益6千2百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ2億4千2百万円減少し、153億7千3百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が3億6千5百万円増加しましたが、現金及び預金が2億7百万円減少、投資有価証券が2億4千5百万円減少したことであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ6百万円減少し、26億6千万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が5千8百万円増加、未払費用が9千1百万円増加しましたが、1年内返還予定の預り保証金が1億3千6百万円減少したことであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ2億3千6百万円減少し、127億1千3百万円となりました。主な要因は、配当金の支払1億6千5百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益5千5百万円を計上したことにより利益剰余金が1億9百万円減少、その他有価証券評価差額金が1億2千4百万円減少したことであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の見通しにつきましては、2021年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,574,441	2,366,618
受取手形及び売掛金	1,369,895	1,735,724
有価証券	100,740	100,690
完成品	272,527	306,731
仕掛品	351,243	344,562
原材料及び貯蔵品	270,614	261,731
その他	178,180	140,722
貸倒引当金	△6,990	△6,422
流動資産合計	5,110,652	5,250,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,280,237	1,255,802
機械装置及び運搬具(純額)	1,160,246	1,055,558
土地	1,928,153	1,928,153
建設仮勘定	3,160	7,998
その他(純額)	51,547	47,103
有形固定資産合計	4,423,345	4,294,615
無形固定資産		
その他	56,246	49,180
無形固定資産合計	56,246	49,180
投資その他の資産		
投資有価証券	5,140,301	4,894,956
退職給付に係る資産	486,671	487,457
繰延税金資産	168,932	170,840
その他	258,573	247,916
貸倒引当金	△27,939	△21,343
投資その他の資産合計	6,026,540	5,779,827
固定資産合計	10,506,131	10,123,623
資産合計	15,616,784	15,373,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	430,762	488,926
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
リース債務	8,251	8,251
未払法人税等	20,646	15,660
未払費用	180,898	272,581
1年内返還予定の預り保証金	136,890	—
その他	401,832	440,252
流動負債合計	1,182,281	1,228,671
固定負債		
長期借入金	138,250	137,500
リース債務	22,004	19,941
退職給付に係る負債	722,476	729,258
長期預り保証金	157,589	157,589
繰延税金負債	380,940	324,000
資産除去債務	63,300	63,300
固定負債合計	1,484,560	1,431,589
負債合計	2,666,841	2,660,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,341,568	1,341,568
利益剰余金	9,255,428	9,146,106
自己株式	△1,362,327	△1,362,327
株主資本合計	12,358,868	12,249,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	561,845	437,703
退職給付に係る調整累計額	29,227	26,471
その他の包括利益累計額合計	591,073	464,175
純資産合計	12,949,942	12,713,721
負債純資産合計	15,616,784	15,373,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,281,537	1,966,009
売上原価	2,115,876	1,762,945
売上総利益	165,661	203,064
販売費及び一般管理費	276,589	222,582
営業損失(△)	△110,928	△19,518
営業外収益		
受取利息	11,308	12,052
受取配当金	36,100	30,624
為替差益	—	198
投資事業組合運用益	2,815	2,817
その他	4,051	3,132
営業外収益合計	54,277	48,824
営業外費用		
支払利息	65	387
売上割引	287	103
為替差損	616	—
支払手数料	817	—
その他	190	151
営業外費用合計	1,976	642
経常利益又は経常損失(△)	△58,627	28,664
特別利益		
固定資産売却益	839	2,112
投資有価証券売却益	—	29,895
特別利益合計	839	32,007
特別損失		
固定資産処分損	3,924	619
減損損失	—	1,579
特別損失合計	3,924	2,198
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,711	58,473
法人税等	29,694	3,405
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,406	55,067
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△91,406	55,067

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,406	55,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237,834	△124,142
退職給付に係る調整額	△1,750	△2,755
その他の包括利益合計	236,083	△126,898
四半期包括利益	144,677	△71,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,677	△71,830

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引等において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識していましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第1四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は5,348千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、休業を実施したことにより支給した休業手当について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けた助成金の既受給額及び受給見込額85,782千円を販売費及び一般管理費並びに当期製造費用から控除しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,473,770	674,393	133,373	2,281,537	—	2,281,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,801	4,909	3,915	62,626	△62,626	—
計	1,527,572	679,302	137,288	2,344,164	△62,626	2,281,537
セグメント利益又は損失(△)	△163,260	△51,228	103,560	△110,928	—	△110,928

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,336,811	537,366	8,020	1,882,198	—	1,882,198
その他の収益	2,904	—	80,907	83,811	—	83,811
外部顧客への売上高	1,339,715	537,366	88,927	1,966,009	—	1,966,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,130	532	4,716	54,379	△54,379	—
計	1,388,846	537,899	93,643	2,020,388	△54,379	1,966,009
セグメント利益又は損失(△)	△79,441	△2,076	62,000	△19,518	—	△19,518

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。